



第73号
 平成23年7月1日
 発行責任者
 綾瀬市商工会青年部
 部長 笠間 功治
 《《情報委員会》》
 委員長 増尾 玄太郎

綾瀬市商工会青年部第45回通常総会開催

平成23年5月21日(土) 17時30分より、綾瀬市内の小田急藤沢ゴルフクラブにおいて、「平成23年度・綾瀬市商工会青年部 第45回通常総会」が開催されました。

今回は、佐藤貴寿君の司会進行により、通常総会が執り行なわれます。まず、村上副部長より、開会が宣言されました。

続いて、演上の藤井相談役に習い、部員による「青年部 誓い唱和」が行われます。



そして、昨年の通常総会で部長に就任し、2年目の折り返し地点を迎えた笠間部長からの挨拶がありました。

また、ここでご多忙の中、ご臨席頂きました来賓の方々からご祝辞を頂戴致しました。ご公務の合間を縫ってのご臨席、誠に有難うございました。

次に、議案審議の進行を務める議長への選出が行われます。会場からの「司会者一任！」の声に従い、佐藤君の指名により栗田智太君が議長として選出され、議案審議が開始されます。

1号議案は「平成22年度事業報告書及び収支決算書・貸借対照表の承認について」です。笠間部長から平成22年度の1年間を振り返り、全体的な青年部の活動内容について報告がなされます。その後、各委員長、副部長から各担当事業の事業報告が行われ、決算書・貸借対照表についての報告が笠間会計から行われました。最後に逓所監事による監査報告が行なわれ、議長から会場の部員たちに向け質疑の有無が投げかけられ、会場からは「異議なし！」の声が上がります。承認の意思表示として、会場から拍手が上がり、賛成多数により1号議案は無事に可決承認されました。

続く、2号議案は「平成23年度事業計画書(案)・収支予算書(案)の決定について」です。事業計画・予算について、笠間部長より平成23年度事業計画書(案)の説明がなされました。その後、小林会計より、平成23年度収支予算書(案)についての説明が行われます。2号議案についても1号議案と同様に、会場からの異議申し立ては無く、可決承認されました。これにより平成23年度の青年部活動の骨子が組み上がった事になります。

本総会の全ての議案審議が終了となり、滞りなく議事を進行させた栗田議長へ会場からは労いの拍手が送られました。

ここで昨年、部内にて活躍した部員への表彰が行われます。今年は、主張大会県央ブロック大会にて準優勝し、県大会へコマを進め、大活躍した矢部貴洋君が表彰されました。

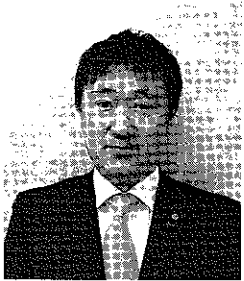
また、本総会を最後に卒業する齊藤隆訓君と阿部剛君へ、笠間部長から感謝状と記念品が贈呈されます。卒業生のお二方、青年部活動お疲れ様でした！

最後に、先日の神奈川県商工会青年部連合会の総会において、県青連会長に就任した今副部長より閉会が宣言され、第45回通常総会は閉会となりました。



今年度は、現体制が折り返し地点を迎えたのと同時に、看板事業と言える花火大会の中止を決定するという苦渋の決断を迫られるなど、波乱の幕開けとなりました。そんな中でも我々は明るい話題を取りこぼす事無く、綾瀬の更なる経済の発展、また東北の被災地に向けての復興支援に頑張っ参ります。今後とも皆様からのご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

今副部長が 神奈川県商工会青年部 連合会会長に就任！



平成23年5月12日(木)、メルパーク横浜において、平成23年度神奈川県商工会青年部連合会通常総会が開催されました。その議場において、今寿義(こん ひさよし)副部長が、第20代神奈川県商工会青年部連合会会長(県青連会

長)に就任しました。

綾瀬市商工会青年部としての歴史を遡ると、綾瀬市から県青連会長に就任したのは、第9代の笠間茂治先輩(現県議会議員)以来の快挙であり、綾瀬だけではなく神奈川県内青年部のトップとなります。

**綾瀬から誕生した県青連会長を
みんなで応援していきましょう！
今副部長、おめでとうございます！**

卒業生のことば

阿部 剛

卒業を迎え、青年部活動を振り返ってみると部員をはじめ、数多くの人と出会い、繋がりを持つことができました。

5年間という長いようで短かった青年部活動でしたが、生まれも育ちも住んでいるところも綾瀬市ではない私にとっては、最高の財産になったように思います。

綾瀬市商工会青年部のさらなる活躍を祈念し、簡単ではありますが卒業の挨拶とさせていただきます。

斉藤隆訓

青年部の皆様、一年半大変お世話になりました。

実際入会している期間が短かったこともあり、たいしたことは出来ませんでした。青年部活動は楽しかったです。卒業しても何事にもギラギラした夢や情熱をもって頑張ってください。青年部の皆様も、もっともっとギラギラした情熱をもって輝いて下さい。有り難うございました。

卒業生の皆さん、長い間お疲れ様でした。

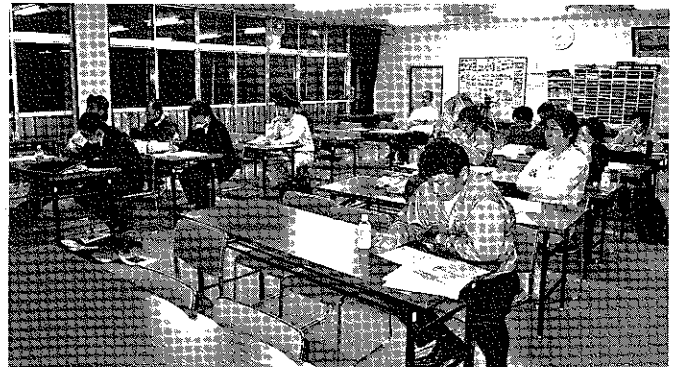
部員一同、先輩たちの意思を引き継ぎ頑張ってください。部員一同、先輩たちの意思を引き継ぎ頑張ってください。部員一同、先輩たちの意思を引き継ぎ頑張ってください。

研修事業

「第3回 俺の会社を見てくれ〜」開催

平成23年4月27日(水)、綾瀬市商工会館にて、研修事業「第3回 俺の会社を見てくれ〜」が開催されました。

第三回目となる今回は、物作りの街・綾瀬の青年部研修事業に相応しく、日々物造りに勤しむ、工業系のメンバーから、増尾玄太郎君(株式会社フォワード)、川崎建司君(株式会社川崎製作所)、佐藤貴寿君(有限会社栄塗装所)の面々が壇上に上がりました。



1番手は、増尾玄太郎君です。増尾君はまず、前身である会社も含め、大正13年から続く会社沿革から自社についての説明を行いました。また、自社で開発したサンプルを会場で回覧し、どんな仕事をしているのかを会場内の出席者に解りやすく説明しました。ディスカッションはとても白熱したものとなり、予定時間を大幅にオーバーして、増尾君の発表は終了しました。

2番手を務めるのは川崎君です。川崎君は会社の沿革や、事業内容の説明を行う中で、自社で手掛けた製品がテレビ番組で取り扱われた時の話など、貴重な体験談を踏まえて、会場の興味を引きつけます。また、板金部品、装置フレーム製作を売りにする自社のモットーは、「良品こそ最高のサービス」と言う、自社の姿勢について説明しました。

そして、今回の研修事業のトリを務めるのは、佐藤君です。佐藤君の会社の主な事業内容は、プラスチック部品の塗装です。佐藤君は、本来であれば「職人技」と呼ばれる塗装技術を必要とされる仕事を、特定の従業員に依存する事なく誰にでも出来る仕事として昇華する為、社内で作業手順書や作業標準書の作成などに特に力を入れている事を説明してくれました。また、ディスカッションでは、現在、主となる取引形態の対企業の取引のみではなく、対個人向けの塗装サービスの展望を明かし、社内にある既存の技術を活用して、サービス展開するのに妥当な価格はどの程度のものか等、とても具体的な質問を部員に投げかけ、とても白熱したディスカッションが行われました。

今回で3回目となる継続研修事業ですが、今回の研修では部員たちの意見交換と言うメリットの他にも、同じ工業系、製造業の三人にも関わらず、発表する方法は三者三様であることから、「物事を発表する時には様々な手段・手法がある。」と言う事も学ぶ事が出来ました。

東北関東大震災復興支援 チャリティーイベント開催

平成23年4月3日(日)、城山公園にて、東北関東大震災復興支援チャリティーイベントが開催されました。

この事業は本来、「第34回城山桜まつり」として企画・予定されていたものを、3月11日に発生した、東日本大震災の復興支援活動を目的とし、急遽、企画を立て直し実施されたものです。



会場内では、義援金募金ブースが設けられ、各協力団体の皆様からもご協力を頂き、たくさんの来場者の方々から義援金のお預かりしました。募金箱の前に一緒に来場したお子さんにお金を持たせ、寄付させる親御さんの姿が良く見かけられました。この場をお借りして御礼申し上げます。



ステージで行われたキャラクターショーでは、大好きなアンパンマン達から勇気を分けてもらう事で、遠く離れた関東の地ではありますが、震災後、子供たちが少なからず肌で感じていたストレスからほんの一時とは言え解放されたのではないかと思います。

部員たちの胸には、震災により亡くなられた方や、被災地で苦しんでいる方たちへの思いと、今回のイベントにより得られた復興支援活動の成果による達成感が入り混じり、とても感慨深い終幕となりました。

ご来場いただきました皆様、誠に有難う御座いました。



募金集計結果のご報告

「東北関東大震災復興支援チャリティーイベント」において、ご来場頂きました皆様よりお預かりした義援金の集計結果をご報告致します。

募金総額 781,760円

(内青年部模擬店の売上より¥46,030)

皆様の温かいご協力、誠にありがとうございました。

お預かりした募金は、日本赤十字社を通じ、被災地への義援金として贈らせて頂きました。

被災地ボランティア活動へ参加

平成23年5月28日(土)、宮城県石巻市にてボランティア活動に参加してきました。

これは、綾瀬市内の4団体(あやせ災害ボランティアネットワーク、一般社団法人綾瀬青年会議所、綾瀬アカデミー、綾瀬市商工会青年部)が「東北地方太平洋沖地震復興支援綾瀬プロジェクト」と題して震災ボランティア活動に参加し、復興支援のお手伝いをするものです。

私たちが割り当てられた作業は、津波により被害に遭われたお宅の汚泥の撤去作業でした。

約6時間の作業と短い時間ではありましたが、住人のご家族より、温かい感謝のお言葉を頂きました。



今回ボランティアに参加して感じたのは、被災地では未だに多くの支援を必要としているということです。

同じ日本人として、現地に対し向き合い、何ができるのかを考え、行動に移していく事が大事だと思います。こういった小さな行動が積み重なることにより、一日も早い復興が成し遂げられると信じています。

第36回綾瀬市商工会青年部花火大会中止に伴うお知らせ

毎年開催しておりました「綾瀬市商工会青年部花火大会」を今年度は中止とさせていただきます。

花火大会同日の日中に開催される「綾瀬いきいき祭り」の中止が4月7日に決定しました。

その決定を受け、私達、綾瀬市商工会青年部内では、花火大会の可否についての議論を重ねて参りました。

気持ちの面でも、経済の面でも停滞している綾瀬市を元気付ける為に、今だからこそ開催すべきだとの意見も出されました。

しかし、夏の電力需要の増加が見込まれる中、計画停電等の事態が起こった場合、例年ご協力いただいている大和警察署の警察官の動員が見込めないかもしれません。「綾瀬いきいき祭り」の中止に伴い、毎年、大会運営に多大なご協力を頂いている綾瀬市からも、例年通りの人員配置は難しいとの判断が下されました。

会場周辺では毎年大渋滞が発生しますが、万が一、信号機消灯などが発生した場合、混乱が広範囲に及び、事故発生リスクが格段に高まるのが事実となります。

例年万全の警備体制で花火大会に臨んでも、年々増加する来場者の安全確保はとて大変なのが現状です。万が一の事故で怪我や人命に関わる事態が発生した場合、来年度以降の花火大会開催にも影響してしまいます。

以上のような状況を踏まえて議論に議論を重ね、花火大会開催は難しいとの結論に至りました。35年もの間脈々と受け継がれてきた歴史ある花火大会の中止は、本当に苦渋の選択となりました。

しかし、花火大会の開催は無理でも、綾瀬のまちの活性化や、被災地企業の自立復興支援に向けた動きは出来るし、むしろ私たち青年世代が行わなければならないとの意見は一致しました。

そこで私達は、この状況下でも出来る事を精一杯やろう！という熱意とアイデアを結集し、

**『綾瀬市商工会青年部主催 東日本超復活祭
～花火の代わりにやっちゃいます！（仮称）～』
開催日：8月27日（土） 会場：綾瀬市役所南側広場**

を開催することに決定しました！

詳細はブログ等で追ってお知らせします。花火は上げられなくても、青年部の勢いは止められない！楽しいお祭りにしますので、是非ご来場下さい。

綾瀬市商工会青年部一同

青年部員募集中

綾瀬市商工会青年部では青年部員を募集しています。私たちと一緒に地域貢献、研修事業を通じて商工業の発展や社会勉強を行っていきませんか？

対象：20歳～40歳までの綾瀬市商工会加入の方
(商工会未加入の方は、加入後の入部となります。)

一番のメリット

入部するだけで、およそ40名の仲間ができます！



興味のある方は是非、下記までお問合せ下さい。
綾瀬市商工会青年部担当 高橋まで

TEL.0467-78-0606

7月～9月 活動予定

7月7日(木) 主張大会県大会・研修会

7月27日(水) 研修事業

「第4回、俺の会社を見てくれ～」

8月27日(土) 東日本超復活祭

～花火の代わりにやっちゃいます！（仮称）～

9月8日(木) 関東ブロック主張大会（茨城）

～9日(金)

…………… 編集後記 ……………

記事にも掲載させて頂きましたが、本紙編集長も宮城県石巻市へボランティア活動に参加してきました。私も現地の状況を生で見、多くのことを肌で感じてきました。被災地の現状から、息の長い支援の必要性を認識したのはもちろんの事ですが、全国より多くのボランティアの方が参加され、頑張っている姿を見て、日本人の団結力、社会貢献意識の高さを感じました。

■青年部ブログ（ホームページ）の見方

パソコンなら<http://u-40.seesaa.net/>もしくは、検索エンジンで「綾瀬市商工会青年部ブログ」と入れればOK。携帯からは同じくアドレスを入力するか、「あぶる～ち」表題のQRコードを読み込んでアクセスして下さい。